

# 埼玉県特集

公営企業管理者

## 中野 晃氏



企業局では、現在、水道事業、地域整備事業の二つの事業を展開している。水道用水供給事業では、災害時でも安定的に送るため、施設の耐震化や停電対策を最優先に取り組んでいる。また、応急給水が必要となった場合を想定し、浄水備蓄施設の整備や給水器材の確保など応急給水体制の強化を進めて、「安全・安心」を確保している。地域整備事業では、圏央道などの高速道路網の整備により高まる立地ポテンシャルを生かし、産業集積による地域の活性化を図るため、新規産業団地の整備に積極的に取り組んでいる。今後、こうした取り組みにより埼玉への人・企業の誘導を図り、「活力」ある埼玉の実現を目指していく。

### 「安心」と「活力」の提供

農林部長

## 河村 仁氏



本県は、多彩な農産物の産地である。ねぎ、さといも、こまつな、パンジーは産出額全国第一位、新規就業者数や農業法人数も着実に増加しており、埼玉農業はとも元気にある。首都圏に位置するといふ本県の有利な条件を生かし、これからは近い将来、埼玉産産物を利用する消費者の増加を促すべく、産地と消費者をつなぐ「産地直売」の推進を図る。また、実効性のある少子化対策として、3人以上の子を有する多子世帯の経済的負担を軽減する

### 儲かる農林業の実現へ

福祉部長

## 田島 浩氏



本県の急速な高齢化に対応するため、市町村の地域包括ケアシステムの構築を支援するとともに、多様な介護施設の整備や介護人材の確保、定着の促進を図る。また、実効性のある少子化対策として、3人以上の子を有する多子世帯の経済的負担を軽減する

### 将来に先手を打つ福祉政策

県民生活部長

## 福島 勤氏



今年度からスポーツ振興に関する事務を県民生活部で行うこととなった。スポーツの力で埼玉をますます元気にしていきたい。今年から本県で開催される「さいたま国際マラソン」は、埼玉の魅力のアピールできる絶好の機会となる。レース発着のさいたまスーパーアリーナやその周辺で、県の特産品を販売したり、沿道で埼玉の芸能を催すなど、オール埼玉で盛り上げ、大成功に結びつけたい。2020年には東京オリンピック・パラリンピック、その前年にはラグビーW杯など、世界的なスポーツイベントが続く。心のこもったおもてなしができるようしっかりと準備を進める。「スポーツ王国埼玉」の新たなステージに向けた飛躍の15年度とした。

### スポーツ王国新ステージへ

埼玉県産業振興公社理事長

## 織田 秀明氏



県内産業全体の活性化に貢献することを役割とする当公社は、中小企業の抱えるさまざまな課題解決を総合的に支援していくことにより、中堅・大手企業や大学、研究機関とも連携し、産学連携による新事業の創出、知的財産支援や海外展開支援、創業に関する支援

### 県内産業の活性化に貢献

など埼玉県の産業振興に幅広く取り組んでいる。2015年度は、新たに「先端産業支援センター埼玉」の運営を通じて、ナノカーボン、ロボティクス、医療、新エネルギー、航空・宇宙など、次世代産業の振興に努める。また、引き続き、「サービス産業の振興」や「企業の海外展開支援」の充実を図り、通商産業政策の地方分権化を掲げる埼玉県の施策実施機関として、本県産業の振興をリードしていく。

県土整備部長

## 浅井 義明氏



県土整備部では、「安心安全を実現し災害に強い県土づくり」、「首都圏を支える県土づくり」、「豊かな暮らしを実現する県土づくり」の三つの基本目標のもと、さまざまな事業を展開する。産業経済の発展を支え、災害時の支援ルート

### 安心・安全で元気な県土

道路ネットワークの整備を進めるとともに、新規事業として、都と連携し、都境の未接続道路を整備する「東京都とのスクラム強化による道路整備」に取り組んでいる。また、災害時の輸送機能を確保する「橋りょうの耐震補強」や市町村と連携した「総合的な治水対策」など、広い視野ときめ細かな視点に立って社会資本を整備し、安心・安全で元気な県土づくりを実現していく。

保健医療部長

## 石川 稔氏



高齢化などを背景に救急搬送件数は増加の一途をたどっている。救急搬送の円滑化を図るため、救急患者を受け入れられる病院を2014年度の4病院から15年度は12病院に拡大する。さらに、群馬県などとドクターヘリの広域連携を進め、要請に確実に対応していく。

### ドクターヘリを広域化

また、高齢化が最も速いスピードで進む本県では今後医療需要が爆発的に増加すると見込まれている。15年度はレセプトデータなどを基にした10年後の医療需要推計、必要病床数など地域ごとの医療体制のあり方を主な内容とする「地域医療構想」を策定する。必要な病床の整備に加え、地域の医療機関がどのように協力して効率的に医療を提供していくかなど、丁寧に議論しながら構想を作り上げていく。

危機管理防災部長

## 小島 敏幸氏



首都直下地震などの大規模災害に備え、まず大切なのは、行政の防災力を強化していくことである。県として、さまざまな場面を想定した実践的訓練を実施するとともに、市町村の実施する訓練に対し支援を行う。ラフライン事業者などとの「顔の見える関係」づくりを進めていく。

### 大規模災害への備え

また、海岸線がないなど災害リスクが相対的に低い、圏央道など高速道路網が充実している本県の優位性を生かし、企業などと協働で災害時に活用できる救援物資の集積拠点や部隊の活動拠点を確保していく。さらに、「自らの命を守るためには、「自助」「共助」が大切である。そこで、県民の防災意識の向上や自主防災活動の活性化に取り組んでいく。

埼玉県産業技術総合センター長

## 中村 雅範氏



次世代産業進出を図る県内中小企業への技術開発支援に取り組む。以前からの中小企業への技術支援に加え、先端産業分野における次世代技術開発の推進、新分野挑戦への支援であり、スピード感を持って取り組む。具体的には、ナノカーボンや蓄電池などの技術開発

### 中小企業の技術開発支援

・技術支援などを行う先端産業創造プロジェクトや3D技術などを活用した中小企業の製品開発支援である。これらを推進するために新機軸の機器を導入するとともに、ソフト面でも製品開発プロジェクトや、臨時研究員を配置し、支援のさらなるスピードアップを図る。また、北部研究所にX線マイクロアナライザーを導入したが、今後とも機械金属分野のさらなる機能強化拡充を図っていく。

都市整備部長

## 秋山 幸男氏



2020年のオリンピック会場となる埼玉スタジアムなどの大規模改修や、ラグビーW杯に向けた熊谷ラグビー場の全面改修を進め、施設の魅力を向上させる。首都圏の一翼を担う立地特性を生かすため、産業用地開発や、物流革命を目指すコンテナラウン

### まちの活力と安全を高める

ドユースを推進し県経済の活性化に寄与していく。また、緊急輸送道路沿道の建築物の耐震化事業のさらなる強化や、木造密集市街地の対策など首都圏直下地震への対応を着実に進める。さらに少子化対策として、子供3人以上の多子世帯の中古住宅取得「リフォーム補助」を創設し、ほか、県営住宅の借り取り改修などに取り組む。これらにより賑わいと活力があり、安心・安全なまちづくりを進める。

産業労働部長

## 立川 吉朗氏



ナノカーボンや医療機器、ロボット、新エネルギー、航空・宇宙などの産業を育成し集積させる先端産業創造プロジェクトの取り組みをさらに加速し、新たな雇用や生産、消費を生み出す仕組みを構築していく。また、中小企業の経営革新を促進するため、企

### 先端産業創造を加速

業にとって身近な商工会議所、商工会が経営革新計画の策定支援から実行支援まで一貫して行える仕組みを構築する。雇用面を構築する。雇用面を活用し、若者や女性、中高年向けに就職相談から職業紹介までワンストップで支援するほか、学生と県内中小企業のマッチングイベントを切れ目なく実施する。産業振興、雇用創出の施策展開を強化し、県経済の活性化を図っていく。

環境部長

## 半田 順春氏



水素をエネルギーとして活用する本格的な水素社会への扉を開くため、燃料電池自動車(FCEV)の普及を支援し、FCEVの普及が水素ステーションの整備を促す好循環を創出する。また、エコタウンプロジェクトとして新たな市町村を選定して地域の特徴に対応した多

### 分散型エネルギー社会構築

様なモデルづくりを進めるとともに、民間事業者と協働でビジネスモデルを創り、エコタウンの拡大を図る。近年、大規模発電施設に過度に依存しない分散型エネルギーが注目されている。このため、中小事業者向けのコージェネレーション(熱電併給)システムの導入促進や、地中熱・太陽熱などの未利用エネルギー活用可能性調査を行い、低炭素で高効率、災害に強い自立分散型エネルギー社会の構築を目指す。

**YDKグループは表面処理業界のバイオニアとして**  
低環境負荷なめっき技術で  
持続可能な社会づくりに貢献します

**YDK 吉野電化工業(株)**  
埼玉県越谷市越ヶ谷5-1-19 (事務所)  
埼玉県吉川市旭1-2 ☎048-951-1111  
<http://www.yoshinodenka.com>

切る、曲げる、溶ける、全て当社にお任せ下さい。  
お客様のご要望を形に致します。

- ・工作機械 ・特殊車輛 ・食品機械
- ・産業車両 ・空調機器 ・半導体製造装置
- ・空港設備 ・医療機器 ・建設機械

<http://www.takasuka-ss.co.jp/>

**株式会社 高須賀製作所**  
〒362-0066 埼玉県上尾市領家1136-7  
TEL. 048-726-1400 FAX. 048-781-1710  
各種力バ-関係の製作も承ります。

**ステライト肉盛のプロフェッショナル**  
必要な部分にだけ高機能な金属層を  
ハサミ~原子力部品まで高付加価値製品をご提供いたします。

摩耗・腐食・熱等による  
問題改善のご提案から  
製品納入まで総合的に  
御社をサポートいたします。

**有限会社 西山金属**

CO合金(ステライト/トリパロイ)  
Ni合金(コルモノイ/ハステロイ)  
炭化物複合材等(WC/Nbc)  
ガス-PTA-溶射による表面改質

〒340-0803 埼玉県八潮市上馬場 476-2  
TEL 048-995-9905 FAX 048-995-8984  
E-mail info@hard-facing.jp  
Web www.hard-facing.jp

**CHALLENGE THE FUTURE**  
—未来を切り開く—

**株式会社エム・テック (総合建設業)**  
〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-7-2 浦和MTビル  
TEL 048-833-2248 (代表) FAX 048-833-3547  
<http://www.mtec-con.co.jp/>

埼玉県産業振興公社で先端産業の無料相談がスタート  
**先端産業支援センター埼玉**  
<http://www.saitama-j.or.jp/sentan/>

「先端産業支援センター埼玉」は、先端産業に取り組む主に県内に立地するあらゆる企業の皆様の支援するための総合相談窓口です。ナノカーボン、医療イノベーション、ロボット、新エネルギー、航空・宇宙の各分野に精通した専門アドバイザーが無料で相談に応じます。

〈相談内容〉  
技術指導、企業マッチング、法規制等の相談  
販路開拓、補助金の活用 など  
お気軽にご利用ください。

〈相談日・相談時間〉  
相談日 月曜日～金曜日(年末年始・休日を除く)  
相談時間 9:00～17:00

新都市ビジネス交流プラザ (JR埼京線北与野駅前すぐ)  
**先端産業支援センター埼玉 (公益財団法人埼玉県産業振興公社)**  
〒338-0001 埼玉県さいたま市中央区上落合2-3-2 新都市ビジネス交流プラザ3階  
TEL: 048-711-6870 FAX: 048-857-3921

最新技術と最新設備  
銅合金・ステンレス・アルミ・他各種鋳物  
**遠心鋳造法** 。。。だから

◎木型は不要 ◎組織は均一  
製品重量 0.1kg～6トンまで 単品から量産品まで!

諸機械設計製作  
歯車 減速機 船用軸系装置 その他一般機械

短納期の御用命を承ります、御一報下さい!!

**石川金属機工株式会社**  
本社・工場 〒334-0075 埼玉県川口市江戸袋2-2-18 TEL048(285)2411 内 FAX048(285)2416  
鳩ヶ谷工場 〒334-0013 埼玉県鳩ヶ谷市南3-26-3 TEL048(284)5181 内 FAX048(284)5183  
横浜支店 〒231-0046 横浜市中区末広町2-3-1 TEL045(242)8865 FAX045(242)8810

URL <http://www.isikin.com/>

サンマックスのマックスライトシリーズ  
**QRLMAX-LIGHT**

傘型バルーン投光器  
特許取得  
■日本 ■韓国 ■中国  
発明大賞考案功労賞  
東京都技術振興功労賞

記念してMMII 400HIDを  
定価340,000-を定価285,000-!

瞬時再点灯メタルハライド  
MMI600QRLもラインアップ

**サンマックス株式会社 San-Max**  
■工場 埼玉県吉川市川藤2 6 2 2 tel048(981)5329 fax048(982)4011  
■本社 東京都足立区西伊興1-18-13 tel03(3853)6863 fax03(3853)6156  
URL: <http://www.sanmax.co.jp> email: info@sanmax.co.jp